

主催 京都橘大学 京都の持続可能性研究ユニット

シンポジウム

まちに子育てを取り戻す

京都市では、現役世代の人口減少が加速しています。
子育て世代が安心して暮らせるまちづくりが、いま喫緊の課題です。
研究者と子育て現場の視点から現状を分析し、
今後のまちづくりと子育て支援策を展望します。

12/21

日

14:00-17:00

開場30分前 入場無料

場所 京都教育文化センター ホール

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13

京阪電車「神宮丸太町」駅下車徒歩5分、市バス「熊野神社前」下車徒歩5分

お申込みは
こちらから



お問い合わせ koyama-d@tachibana-u.ac.jp

ごあいさつ

岡田 知弘 (京都橘大学学長)

研究ユニット代表 小山 大介 (京都橘大学経済学部教授)

第 1 部

子ども・子育て支援の歴史と現在

女性が働き続けられる社会めざして—“ポストの数だけ保育所を”から“#保育所落ちた”まで—

澤田 季江 (新日本婦人の会京都府本部会長)

「子どもの意見表明」を考える—「京都市はぐくみプラン<2025-2029>」を事例として—

吉岡 久恵 (京都橘大学客員研究員/京都芸術大学非常勤講師)

第 2 部

ことばと文化の多様性に寄り添う

「多文化・多言語の子どもたちを支える外国ルーツ子育て当事者と地域の協働—福岡市における実践を通じて—」

逢坂 由貴 (社会福祉士/保育士/九州大学大学院博士後期課程)

外国ルーツの子どもと保育所・小学校・学童—関西のアフリカンキッズの例を中心について—

那須ダグバ 潤子 (京都橘大学看護学部准教授)

総合討論

話題提供

「子育て世代の居住地と保育施設の分布—GISによる可視化」

前田 一馬(京都橘大学経済学部講師)

「山科・醍醐地域の子ども食堂の現状と課題」

大田 雅之 (京都橘大学経営学部助教)

特別出演

太鼓クラブ 心葵 (ここあ)

京都市葵児童館に通う元気な子どもたちの
演奏をお楽しみください

